

# おおだて 病院だより

市立総合病院・市立扇田病院

## 創刊号

おおだて病院だよりは、  
市民・患者さんと  
市立総合病院・市立扇田病院を  
つなぐ広報誌です

2010.8

No. 1

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男  
編集：大館市立総合病院 広報委員会  
住所：大館市豊町3-1(総合)  
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)  
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)  
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)  
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)

### 総合病院理念

患者さんが安心と満足の  
得られる医療の展開



### 扇田病院理念

地域の皆様の  
「心の支えとなる病院」をめざします



# 病院広報創刊によせて



市立病院開設者  
市長  
小畑 元

総合病院は明治12年、扇田病院は明治40年の開設以来、県北部の中核病院として、また、地域の身近な病院として、医療水準の確保と向上に努めて参りました。

しかし近年は、医療技術の飛躍的な進歩に加え、医療制度や疾病構造も著しく変化しており、その取り巻く状況は、市民の皆様にとって決してわかりやすいものとは言い切れない状況です。

こうした中、病院広報が創刊されたことは、誠に時宜を得たものであり、この取り組みにより、両病院に更なる信頼が寄せられることを期待しております。



病院事業管理者  
佐々木 睦男

このたび病院広報が創刊されることになりました。広報を通して市民の皆様が市立病院（総合病院、扇田病院）の現状を知ってくだされば大変喜ばしいことと思っております。今、医師や看護師不足のため地域医療は危機的状態にある、といわれております。また、全国的にみても大多数の自治体病院の経営が悪化しており、関係者はその対策に追われているのが現状といえます。市立病院においても同様の問題があります。そのなかで私たち病院職員が取り組んでいる諸問題や将来構想について御理解いただく良い機会になることを期待しています。幸いにも平成21年度の診療実績をみますと前年度より大幅に改善されており、これまでの職員一同の努力が実りつつあるものと考えております。このことは、医師や看護師不足の著しい北秋田地方においては大変特徴的な結果であると考えており、今後とも市民の皆様や職員のご理解のもとに努力を続けていくつもりです。

私が当地に来ましてから2年と3か月がたちました。当地に赴任する際、市立病院を「より市民に信頼される病院」、「より職員にとって働きやすい病院」にしたいと、2つの目標を持って来ました。この目標の達成はまだまだ端緒についたばかりであり、その成果も定かではありません。今後、この広報を通して私たちの医療についての取り組みを御紹介しながら、2つの目標達成に向かって努力して参りたいと考えております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



市立総合病院  
院長  
館岡 博

私はお互いの信頼関係を築くためには、まずお互いをよく知ることによって、お互いをよく理解し合い、それによって強固な信頼関係が築き上げられて行くものと常々思っております。このような思いから、市民の皆様にもっと生のおらほの病院（市立総合病院）の姿を知ってもらいたいということで、今回全職員協力のもとで発刊の運びとなりました。今後、この広報誌を通じて、院内各診療科、各部門の活動、各委員会などの病院内の様々な活動状況等を網羅して皆様にご報告することにより、当院の情報を市民の皆様と共有し合い、皆様に愛され、育まれる病院になって参りたいと思っております。

昨年より院長を拝命し、職員には医療の質の向上、人材を育てる病院にこだわって行きたいと事ある毎に話しておりますが、このことは職員一人一人が医療人として真のプロを目指す事によって到達されるのではないかと考えております。そうする事によって当院の理念である患者さんが安心と満足の出来る医療に通じるものと思っております。秋田大医学部長谷川教授は人間力の向上は病院力の大きさに通じると話されておりますが、職員一人一人が人間力、すなわち笑顔、挨拶、患者さんと同じ目線、共感を念頭において実践出来れば、皆様により期待される病院力を発揮出来るものと考えております。

この発刊を機会によりいっそう地域に根ざした病院になって参りたいと思っております。



市立扇田病院  
院長  
大本 直樹

市立扇田病院は明治40年に公立扇田病院として創設されて以来、100年余の長い歴史を刻んできました。この間に人々の生活や医療技術は大きく様変わりし、病院の形態もその時代の要求に従って変化してきました。

県内で三本指に入る分娩件数を誇り、「お産の扇田病院」として名声を得た時代もありましたが、時代の変遷によって平成18年に産婦人科が休診となり、分娩の取り扱いが終了しました。

こうして大きな転機を迎えた当院は、「地域の皆様の心の支えとなる病院」を理念に、地域社会により密着した医療サービスを提供する病院として再出発しました。

現在の扇田病院は一般病棟62床、療養病棟42床の計104床で運営しています。

当院独自の取り組みとして、セミオープン・ベッド方式（民間診療所の患者さんのスムーズな入院受け入れ）の導入、週3回の「夕やけ診療」（夜5時～7時）など、患者さんの利便性を考えた診療を行っております。

医療は高度化し専門分化が進んでおりますが、当院は全人的で総合的な診療を目指し、より専門的な診療を行う市立総合病院との機能連携を図って地域医療に貢献していきたいと考えております。

# 総合病院は「DPC病院」になること 思います！

DPC導入準備委員会

高橋 秀身(副院長)

聞き慣れない「DPC病院」。横文字の名前の病院?とまで考える方は  
 いらつしやらないと思いますが、DPCとは、D=Diagnosis(診断)、  
 P=Procedure(処置)、C=Combination(組み合わせ)の頭文字で  
 す。呼び方はともかく、どんな呼称なのかをご説明しましょう。

「DPC病院」とは、**当院のような急性期病院**(急激に発症し、経過の短い重症の病気をともに扱う病院)がめざす、いわば「病院の資格」みたいなものです。ただし名譽ある「称号」といった類の呼び方ではありません。これは国策に基づいた**病院運営の仕方**のひとつの呼び方で、簡単に言えば「**病院の診療報酬が、病気に**ごとに**あらかじめ決まっている**」**「定額払い制度」**のことを言います。しかしたんに支払い制度の改革ではなく、じつは深い「意義」がこの中に含まれているのです。いずれ詳しく説明します。また多くの場合、この制度を導入することで病院経営面でも好転するはずですよ。

その資格を持つ病院は6〜7年前から急速に増え出しています。当院はその「DPC病院」には、まだなっていないからです。

この6月、当院もいよいよ「DPC病院」になりたいという旨を厚生労働省に届け出ました。そして受理されました。準備期間が2年間と設定されているので、今から準備して2年後、すなわち平成24年度からは正式に「DPC病院」になる

つもりでいるのです。一大事業です。

“DPC病院だかなんだか判らないが、市民に優しい医療を心掛けることが一番!面倒なことは病院に任せるから、とにかく地域のために医療をちゃんとやってくればそれでいいんだ”  
 おおかたの市民はそう思うでしょう…  
 それは全くその通りです。

しかし、標準的で効率的な治療を提供できる病院でありたい、いつまでも市民のお役に立てる病院でありたい(潰れない病院であり続けたい)と思えばこそ! 私たちは「DPC病院」に名乗りを上げたのです。そしてそのためには、市民の皆さんにもご協力頂かなくてはならないことがいくつか生じてくるのです。とくに始めのうちは、事務量が增大することによるご迷惑もかかるかも知れませんが、もちろん私たちは頑張るつもりですが、何よりも皆さんのご理解、ご協力なくして一人前の「DPC病院」にはなれないのです。

それは一体、どんな意味を持つのかというところを、これから詳しくご説明して参ります。(続)

## 院内委員会活動報告 第1回

### 患者サービス委員会

# 患者サービス向上宣言!

患者サービス委員会は、皆さんが安心して当院を利用できるように活動しています。具体的には、①皆さんから寄せられたご意見の内容を検討し、必要があれば関係部署に改善を促す②接遇研修会に参加し、職員向けの学習会を開催する③患者さんにアンケート調査を実施する④病院ボランティアとして活動してくださる方のお世話をする等です。委員会ができて7年たち、各方面から接遇は良くなってきているとお言葉を頂戴していますが、まだまだ十分とはいえない状況です。皆さんは、当院で定めている“患者さんの権利”をご存知でしょうか。皆さんには、治療について十分な説明を受け、同意に基づく医療を受ける権利、必要な情報を得る権利、平等で最善の治療を受ける権利、プライバシーを尊重される権利があります。もしも、その権利が侵されたと感じられた時は、私たちに教えてください。より良い病院を作るために、皆さんとともに努力していきたく思います。

## ご紹介

### 看護部

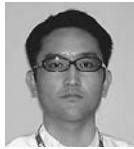


看護部長 畠山 江美子

私たち看護部は「患者さんを尊重する視点に立った、思いやりのある優しい看護」をモットーにしています。「看」という字は「手」と「目」から構成されていますが、私達は暖かい「手」と思いやりのある「目」を活かした、安全、安心、安楽な看護の実践を目指しております。

今年度は19名の新人ナースが私たちの仲間になりました。新人ナースたちは患者さんや看護部以外の職員に「よろしくお願ひします」という気持ちを含めて、ネームプレートに若葉マークをデザインしたバッヂを装着しています。どうか暖かい目で成長を見守っていただきたいと思っています。

今後も、地域の中核病院としての役割を担っている市立総合病院の看護師として、職場や仕事に誇りを持ち、生き生きと働ける職場作りに取り組んでいきたいと思っています。



## 整形外科

神 裕道

(じん ひろみち)

よい医療を提供できるよう精進いたします。



## 整形外科

近江 洋嗣

(おうみ ひろつぐ)

大館市を盛り上げていきます。



## 整形外科

奈良岡琢哉

(ならおか たくや)

いつでも気軽にご相談下さい。



## 耳鼻咽喉科

蒔苗 公利

(まきなえ きみとし)

地域の方に耳鼻咽喉科疾患で不安を感じることなく生活していただきたいと考えています。耳鼻科はいつでもみんなのMI☆KA☆TAです☆



## 耳鼻咽喉科

羽山 淳子

(もみやま じゅんこ)

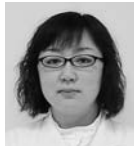
大館・鹿角・北秋田地区で唯一の入院手術態勢がととのっている耳鼻咽喉科と考えています。地域の耳鼻咽喉科の先生方と協力して治療に臨みたいと思います。



## 眼科

佐藤 章子

(さとう しょうこ)



## 眼科

木村 智美

(きむら さとみ)



## 産婦人科 副院長

高橋 秀身

(たかはし ひでみ)

患者さんのところ、いたみに寄り添う医療を心掛けたいと思います。



## 産婦人科

富浦 一行

(とみうら かずゆき)

地域の皆様にお役に立てる様頑張っております。



## 産婦人科

葛西剛一郎

(かせい ごういちろう)

「小さなきず」にこだわって手術しています。



## 産婦人科

葛西亜希子

(かせい あきこ)

安全・安心・標準的な医療を提供できるように努めています。



## 産婦人科

阿部 和弘

(あべ かずひろ)

大館のために頑張ります。

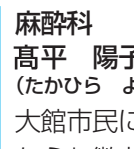


## 麻酔科 副院長

村川 徳昭

(むらかわ とくあき)

地域医療のお役に立てるように頑張りたいと存じます。



## 麻酔科

高平 陽子

(たかひら ようこ)

大館市民になって3年目です。これからも微力ながら、大館のために働いていきたいと思っております。



## 臨床検査科

楠美 智巳

(くすみ とみみ)

患者さんに直接会うことはありませんが、検査を専門に行っています。



## 歯科口腔外科

佐々木知一

(ささき ともかず)

地域の口腔外科疾患、矯正歯科治療に頑張ります。



## 研修医

吉田 健太

(よしだ けんた)

よろしくお願いいたします。



## 研修医

吉田 枝里

(よしだ えり)

がんばります。よろしくお願いいたします。



## 研修医 鈴木 史圭

(すずき ふみか)

はじめまして。4月からこちらで研修しています。笑顔で取り組みたいと思っています。頑張ります！よろしくお願いいたします。



## 研修医

千葉 奈歩

(ちば なほ)

研修2年目です。よろしくお願いいたします。



## 研修医

千葉 友揮

(ちば ゆうき)

患者さんに信頼されるようにがんばります。

## 市立扇田病院



## 内科 副院長

麓 耕平

(ふもと こうへい)

よろしくお願いいたします。



## 内科

中西 真一

(なかにし しんいち)

頑張っています。

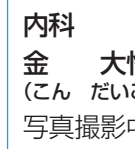


## 内科

住吉 明子

(すみよし あきこ)

何でも聞いてください。



## 内科

金 大悟

(こん だいご)

写真撮影中です。

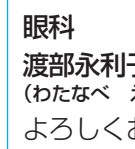


## 外科

佐藤 公生

(さとう きみお)

これからもよろしくお願いいたします。



## 眼科

渡部永利子

(わたなべ えりこ)

よろしくお願いいたします。

# 医師紹介

## 市立総合病院

### 第一内科

林 昌功 (はやし まさよし)

### 第一内科

小杉 拓生 (こすぎ たくお)



### 第一内科

横田 貴志  
(よこた たかし)

地域医療のためにがんばります。



### 第一内科

横山 公章  
(よこやま ひろあき)

大館市近郊の地域医療に少しでも貢献できるようにがんばります。



### 第二内科

吉原 綾子  
(よしはら あやこ)

消化器癌で失われる命がすこしでも減るように仕事を続けたいです。



### 第二内科

小笠原 仁  
(おがさわら ひとし)



### 第二内科

小沼 譲  
(こぬま ゆずる)

真面目に真っ直ぐに真剣に頑張ります。



### 第二内科

相澤 弘  
(あいさわ ひろし)

地域のニーズにこたえられるようがんばりたいと思います。



### 第二内科

鎌田 耕輔  
(かまた こうすけ)

知識も経験も足りない未熟者ですが、精一杯頑張ります。



### 第三内科 副院長

八代 均  
(やしろ ひとし)

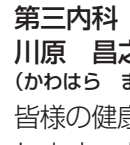
栄養科とタイアップし食事療法の基本から指導しています。



### 第三内科

池島 進  
(いけじま しん)

地域医療に貢献できるようがんばりたいと思います。



### 第三内科

川原 昌之  
(かわはら まさゆき)

皆様の健康づくりのサポートをいたします。よろしくお願ひします。



### 神経精神科

平野 敬之  
(ひらの たかゆき)

精神科救急、入院、デイケア、訪問看護など、秋田県北の精神科医療の中核として尽力しています。



### 神経精神科

中神 卓  
(なかがみ たく)

お気軽にまずは受診ください。



### 神経精神科

橋本浩二郎  
(はしもと こうじろう)

地域医療に貢献できるよう、日々がんばります。



### 神経精神科

畠山 牧子  
(はたけやま まきこ)

地域医療のためにがんばります。



### 小児科

高橋 義博  
(たかはし よしひろ)

小児医療とともに、感染症、エイズ対策も担当しています。



### 小児科

丹代 諭  
(たんだい さとる)

来てよかったと思える病院にしていきたいと思ひます。



### 小児科

津川 浩二  
(つがわ こうじ)

小児医療に少しでも貢献できるよう、がんばりたいと思ひます。



### 外科

吉原 秀一  
(よしはら しゅういち)

医療局全体をまとめる仕事をしております。本来は外科医で消化器外科を中心に「傷の小さな手術」を専門に治療を行っております。また、漢方治療も行っておりますので、興味のある方はご相談して下さい。



### 外科

大石 晋  
(おおいし すずむ)

気軽に声をかけて下さいね。



### 外科

奈良 昌樹  
(なら まさき)

気軽に受診して下さい。



### 外科

矢越 雄太  
(やこし ゆうた)

精一杯頑張ります。



### 外科

小林 完  
(こばやし たもつ)

明るく元気に!!をモットーにがんばります。



### 泌尿器科

百瀬 昭志  
(ももせ あきし)

透析医療のためにがんばります。



### 泌尿器科

成田 知  
(なりた さとし)

地域の皆さんと協力し、よりよい病院をめざします。



### 泌尿器科

石村 大史  
(いしむら ひろふみ)

大館の皆様のため頑張ります。



### 整形外科

横山 徹  
(よこやま とおる)

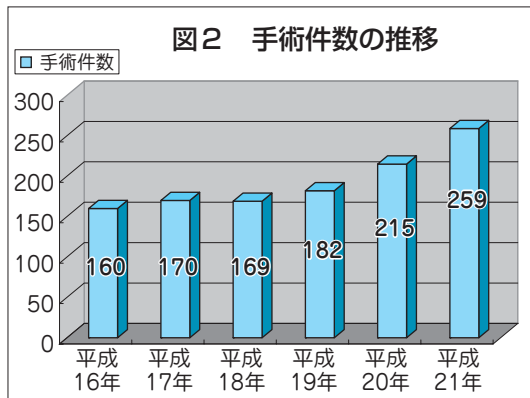
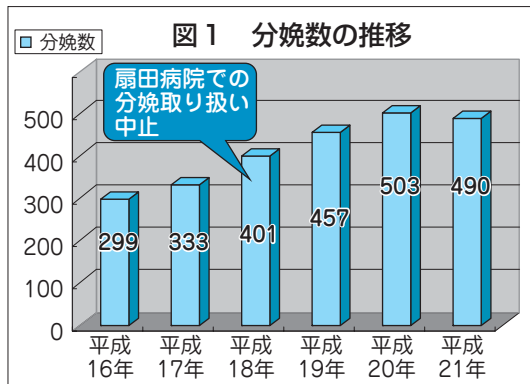
地域住民のために質の高い整形外科医療を提供したい。

# 産婦人科から

産婦人科では常勤医4人（全員が産科婦人科学会認定の専門医）と弘前大学からの応援医師により幅広い産婦人科疾患の診断、治療を行っています。

平成18年8月からは、市内で分娩を扱う施設が当病院だけとなつてからは、市内在住の全ての妊婦さんのお産ができるようにするために、里帰り分娩をお断りせざるを得ない状況です。また、地域周産期母子医療センターであり近隣の施設からのハイリスク妊産婦の受け入れも行っていきます。分娩数は図1のように300件前後から500件へと急増しています。

またお産だけでなく不妊治療や婦人科疾患の治療にも積極的に対処し、手術件数も大幅に増加しています（図2）。そうした中でも良性疾患では、低侵襲手術、特に内視鏡（腹腔鏡）手術に力を注いでいます。腹腔鏡手術は平成17年頃から本格的に取り組み始め、年々増加し、平成21年は約60件に達しました。現在では、卵巣嚢腫・子宮内膜症・子宮外妊娠・子宮筋腫核出等の他に子宮全摘術も腹腔鏡下で行っています。さらに、単孔式手術（おへそに2cm程の切開を入れただけで行う手術）を始め、患者の術後の生活改善に貢献しています。



産婦人科・助産師チーム（一部）

## がん診療市民医学講座

5月23日（日）中央公民館で「乳がん」をテーマにした「がん診療市民医学講座」を開催しました。これはがんについて市民の皆様にはわかりやすく解説し、治療と予防の知識を深めていただくために毎年開催することになっているもので、2回目の開催になるものです。今回は、「乳がん」について、秋田大学医学部附属病院の片寄先生よりわかりやすく講演いただきました。

次回は10月下旬に開催します。



お薬のいろんな疑問にお答えしていきます。



第1回は睡眠薬です。

**Q** 睡眠薬の種類は？

**A** 効果の続く時間によって、数種類に分けられます。

寝つきが悪いタイプの不眠には超短時間型の睡眠薬を、早朝に目が覚めて、その後また眠ることが出来ないタイプには中・長時間型の睡眠薬を使います。



**Q** 副作用は？

**A** 睡眠薬の効果が残って朝から午前中にかけて眠気が出る場合があります。ふらつきや転倒を起こすこともあります。これらは薬の量・種類を調節することでほとんどの場合解決します。

**Q** 一度飲み始めたら、やめられなくなる？依存する？

**A** 今使われている睡眠薬では依存はほとんどありません。

ただし、眠れるようになったからといって自己判断で中止したりするとまた眠れなくなることがあります。医師の指示通り、段階的に減らしていくことでやめることが出来ます。

一方、睡眠薬の代わりにアルコール（寝酒）は逆効果でだんだんくせになってくるし、深い睡眠を減らし、夜中に目覚める原因となるので控えましょう。睡眠薬は正しく使えば怖くはありません。不眠でお困りの方は相談してみてください。



# 市立扇田病院のご案内



## 診療科、患者受付時間のご案内

当院の診療科及び受付の時間は、下記のとおりとなっております。

診療科	午前の受付時間	午後の受付時間
内科	午前8時30分から午前11時まで	急患のみの受付
外科	午前8時30分から午前11時まで	午後2時から午後3時30分まで
整形外科	毎週水曜日、金曜日 午前8時30分から午前11時まで ※金曜日は、新患および事前予約の患者さん のみ診察となります	
皮膚科	毎週火曜日 午前8時30分から午前11時まで	
耳鼻科	毎週火曜日、木曜日 木曜日は、予約患者さんのみの診察となります 午前8時30分から午前11時まで	
眼科	午前8時30分から午前11時まで	検査の方のみの診察となります

※先生の都合で、休診となる場合もあります。

## 担当医師 平成22年8月1日現在

診療科	担当医師名等
内科	大本 直樹 麓 耕平 中西 真一 秋田大学医学部第一内科 住吉 明子 金 大悟 秋田大学医学部第二内科
外科	佐藤 公生
整形外科	秋田労災病院整形外科 大館市立総合病院整形外科
皮膚科	弘前大学医学部皮膚科
耳鼻科	弘前大学医学部耳鼻科 石田 弘子
眼科	渡部永利子

## 初めて来院される方へ

院内に入りましたら、受付ホールに備え付けてある「受診申込書」に、所定事項を記入して「(1)新患受付」窓口で手続きをしてください。

受付が済みましたら、診療申込された科でお待ちください。「カルテ」は職員がお運びします。

※何かご不明な点がございましたら、ご遠慮なく受付職員にお尋ねください。



## 特色のある医療を目指して

### 【夕やけ診療のご案内】

当院では、仕事や学校の都合で日中に通院できない患者さんのために「夕やけ診療」を開設しております。

検査やレントゲンなどのスタッフも配置しておりますので、午前中と同様の医療行為を受けることができます。

また、新患も受付しております。予約の必要はございません。

#### ○診療日時、診療科

- 夕やけ診療日 ・ 毎週月曜日、水曜日、金曜日  
(ただし、年末年始による休診日と各祭日は休診となります)
- 受付時間 ・ 午後5時から午後7時まで
- 診療科 ・ 内科 (小学生以上の患者であれば受診可能です)  
・ その他の科を受診希望の方は、事前に電話等でご確認ください



夕やけ診療  
大館市立扇田病院

月・水・金  
午後5～7時

### 【セミオープンベットのご案内】

当院では、平成19年4月1日からセミオープンベットを開始しています。

開業医の先生と当院の主治医とが、共に協力し治療にあたることで、地域ニーズに対応していくことを目的にしています。お引き受けできる診療範囲等は、事前にご確認ください。

#### (セミオープンベットとは)

- 開業医を受診している患者さんが、当院の入院病床の一部を優先的に利用できるシステムです。
- 「かかりつけ医」である開業医の先生が、入院が必要と判断した場合に、患者さんを優先的に引き受けいたします。
- 治癒後には「かかりつけ医」に戻り、診療を継続していただきます。

#### (ご利用方法)

- 開業医において、入院が必要と判断された場合には、当院の地域連携担当へご連絡ください。
- 担当者から折り返し入院日時をご連絡いたします。
- 予約した日時に患者さんが来院されると、優先的に入院手続きを行います。

#### (お願い)

セミオープンベットのご利用につきましては、患者さんの同意を得た上で申込をしていただきますようお願いいたします。

# 総合病院ロゴマークが決定しました!

この6月、患者の皆さんおよび病院職員の投票で、市立総合病院のロゴマークが決定いたしました。皆さんに愛されるシンボルとなっていくよう、職員一同大事に育てて参りたいと思います!



## ロゴマークの説明

大館市(ODATE)のOと、手をつなぐ人の姿をモチーフに、ひとつの円弧は患者さんと地域を、もうひとつの円弧は医療をもってそれを支える大館市立総合病院を表しています。

その2つが手を取り合って1つの大きな円を作り、その円は「病院との繋がり、信頼関係」そして「地域住民の健康」を象徴しています。

色はいきいきとした健康を表す赤色と、病院の安心感・信頼を表す緑色です。

## 作者コメント

大阪市在住デザイナー 甲斐健二

この度は大館市立総合病院ロゴマークに採用いただき誠に有難うございます。数多い応募作品の中から選ばれ大変光栄です。

このロゴが病院のイメージアップに少しでも役に立ち、病院関係者の皆様、患者さん、そして地域の皆様に未永く愛されるようにと願っています。

## 外来診療のご案内 ~市立総合病院~

受付時間	初診 午前8:30~11:00	再来 午前7:30~11:00
------	-----------------	-----------------

下記に特段の記載がない場合、上記の受付時間になります。手術などのため、休診や受付時間の変更をすることがあります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
第1内科	新患	10:30まで	10:30まで	10:00まで	10:30まで	10:30まで	呼吸器の新患は月・火・金。新患は原則として紹介状が必要です。
	再来			休診			
第2内科							新患は原則として紹介状が必要です。
第3内科	新患		甲状腺		甲状腺	10:00まで	10:00まで
	再来		外来		外来		
小児科							
神経精神科							
外科							
産婦人科							
眼科		10:00まで(火・木・金は9:30まで)					新患は原則として紹介状が必要です。
耳鼻咽喉科							
整形外科	新患	10:00まで					専門外来は予約制。
	再来	10:30まで					
泌尿器科	新患	10:00まで	受付なし	10:00まで	10:00まで	受付なし	新患・再来ともに予約制。紹介時は火・水・金指定で「紹介カード」をご利用ください。(予約人数には制限があります)
	再来						
皮膚科				休診	休診		
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		休診	休診	休診		休診	
歯科口腔外科							再来は予約制。

※新患の方は出来るだけ紹介状の持参をお願いしております。

## 編集後記

おおだて病院だより創刊号をお届けいたします。市民の皆さまに病院の状況をよく理解していただくこと、そして患者さんの受診に役に立つこと。この二つを目標に各季節1回のペースで発刊の予定です。季節の風も一緒に伝えられたら良いなあと思っています。編集の素人集団の作品であり、お見苦しい点多々あるかと思いますがお許し下さい。皆様の味方になる良い広報を目指して参ります!

編集委員長 時苗公利